



令和5年9月1日
企画財政課

令和5年度 まちづくり町民意識調査 報告書

■ 目次

調査の概要	1
調査対象者の選出方法について	2
回答方法の割合について	2
回答者の属性	3
町に対する印象	4
施策満足度・重要度	7
目標値に対する施策満足度	9
自治基本条例	10
多文化共生	12
施策に対する自由意見	13

■ 調査の概要

この調査は、第6次白老町総合計画に掲げる各施策に対する町民の重要度・満足度等を調査することで、計画の適正な進行管理を図ることを目的としています。

なお、本報告書では小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

対象地域	白老町全域
対象者	町内在住の満18歳以上の者(外国人を含まない)2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、回答は郵送での回答またはオンラインでの回答
調査期間	令和5年6月1日(木)～22日(木)
回収標本数	775票(回答率:38.8%) ※前回747票(回答率:37.4%)

■ 調査対象者の選出方法について

調査対象者の選出方法についてですが、①年齢区分での在住割合、②地域毎での人口分布を基に各年齢区分、地域別で選出した人数を下表に示します。

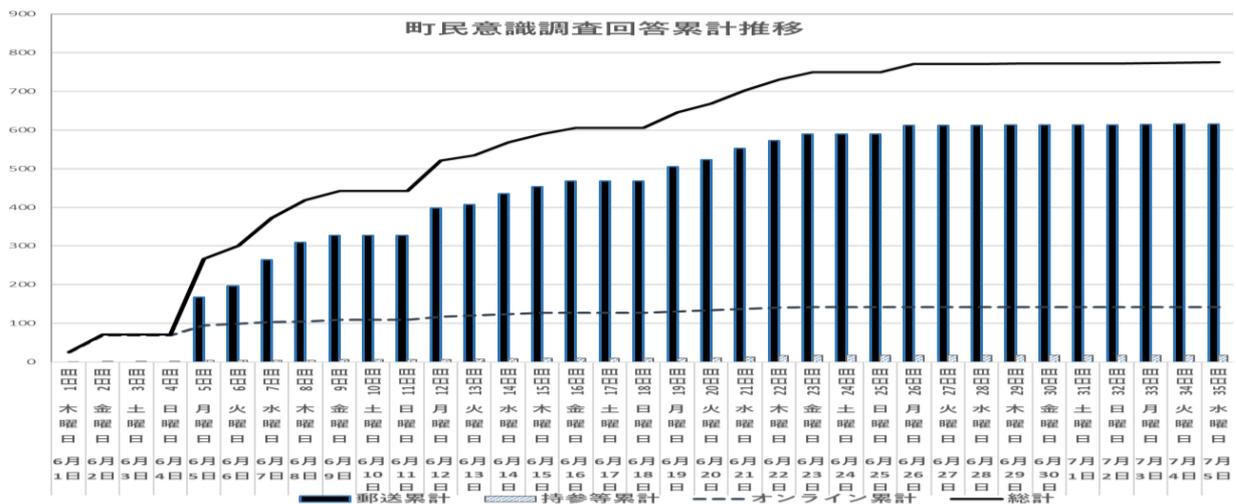
年齢区分	対区分比 選出人数	上段 男性人数	社台地域	白老地域	石山地域	萩野地域	北吉原地域	竹浦地域	虎杖浜地域
		下段 女性人数							
18-29	169	87	4	40	5	12	9	10	7
		82	4	37	5	11	9	9	7
30-39	165	85	4	39	5	12	9	9	7
		80	4	35	5	11	9	9	7
40-49	273	140	7	63	8	20	15	15	12
		133	6	60	8	19	14	15	11
50-59	296	143	7	65	8	20	15	16	12
		153	7	69	9	22	16	17	13
60-69	410	202	9	92	11	29	22	22	17
		208	10	94	12	29	22	23	18
70-79	512	229	11	105	13	32	24	25	19
		283	13	129	16	40	30	31	24
80-84	175	73	3	34	4	10	8	8	6
		102	5	46	6	14	11	11	9
			94	908	115	281	213	220	169

■ 回答方法の割合について

今回、従来と同じく「郵送での回答」に加え、「オンラインでの回答」どちらかを選択していただく事としました。

回答方法の割合は、

- ① 郵送回答(直接持参等も含む) 633(81.7%)、② オンライン回答 142(18.3%) となりました。



■ 回答者の属性

年齢・性別	男	女	未回答	
20歳未満	1	3	0	(0.5%)
20歳代	15	17	1	(4.3%)
30歳代	24	39	1	(8.3%)
40歳代	36	33	3	(9.3%)
50歳代	30	48	9	(11.2%)
60歳代	83	72	15	(21.9%)
70歳以上	132	153	42	(42.2%)
無回答	1	2	15	(2.3%)
合計	322	367	86	775

世帯構成

単身世帯(一人暮らし)	126	(16.2%)
1世代世帯(夫婦だけ)	340	(43.9%)
2世代世帯(親と子)	235	(30.3%)
3世代世帯(親と子と孫)	28	(3.6%)
その他	26	(3.4%)
無回答	20	(2.6%)

居住歴

生まれたときから	108	(13.9%)
一時、町外に住んで戻ってきた	146	(18.8%)
転入してきた	478	(61.7%)
無回答	43	(5.5%)

【分析】

○調査対象者2000人の内、60歳以上が1095人(54.8%)であり、全回答に占める60歳以上の割合も64.1%となりました。

○地域別の居住年数を比較すると、長期居住者の割合が全ての地区で高く、住居年数が5年未満の回答が高かったのは石山(22.0%)、萩野(18.7%)でした。また、居住歴では、町外から転入してきた方が60%以上を占めました。

○転入理由は、結婚・仕事の都合・家族の都合を要因としたものが75%と大部分を占めました。

職業

会社員	126	(16.3%)
会社等経営者	13	(1.7%)
自営業	43	(5.5%)
公務員・団体職員	56	(7.2%)
アルバイト・パートタイム	114	(14.7%)
家事専業	85	(11.0%)
学生	6	(0.8%)
無職	269	(34.7%)
その他	43	(5.5%)
無回答	20	(2.6%)

居住地・居住年数

	社台	白老	石山	萩野	北吉原	竹浦	虎杖浜
21年以上	58.3%	70.2%	39.0%	62.6%	52.9%	65.4%	66.7%
11~20年	16.7%	12.2%	24.4%	10.3%	14.7%	12.8%	14.3%
5~10年	8.3%	8.7%	14.6%	5.6%	16.2%	11.5%	9.5%
5年未満	12.5%	8.7%	22.0%	18.7%	14.7%	9.0%	7.9%
無回答	4.2%	0.3%	0.0%	2.8%	1.5%	1.3%	1.6%

転入理由

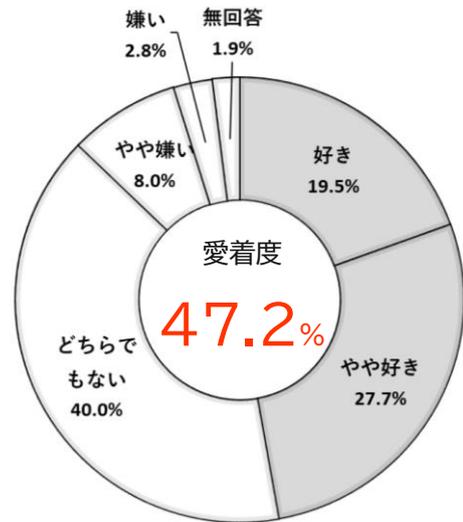
仕事の都合	170	(35.6%)
結婚	104	(21.8%)
家族の都合	84	(17.5%)
自然の豊かさ	18	(3.8%)
老後の環境が良い	18	(3.8%)
住居環境が良い	15	(3.1%)
地価が手ごろ	13	(2.7%)
親族等が近い	11	(2.3%)
子育て環境が良い	3	(0.6%)
その他	41	(8.6%)
無回答	1	(0.2%)

■ 町に対する印象

(1) 愛着度

○あなたは白老町が好きですか。

	(%)	
	3年度	5年度
好き	19.0	19.5
やや好き	31.2	27.7
どちらでもない	38.0	40.0
やや嫌い	7.2	8.0
嫌い	3.1	2.8
無回答	1.5	1.9



N(サンプル数) = 775

	(%)					
	好き	やや好き	どちらでもない	やや嫌い	嫌い	無回答
20歳未満	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
20歳代	12.1	39.4	30.3	12.1	6.1	0.0
30歳代	25.0	32.8	21.9	17.2	3.1	0.0
40歳代	26.4	37.5	31.9	2.8	1.4	0.0
50歳代	16.1	19.5	51.7	10.3	2.3	0.0
60歳代	16.5	26.5	45.9	6.5	4.7	0.0
70歳以上	20.2	27.8	42.5	6.7	2.1	0.6
年代不明	5.6	5.6	5.6	11.1	0.0	72.1

○前問で「好き」または「やや好き」と答えた方にお聞きます。その理由を教えてください。

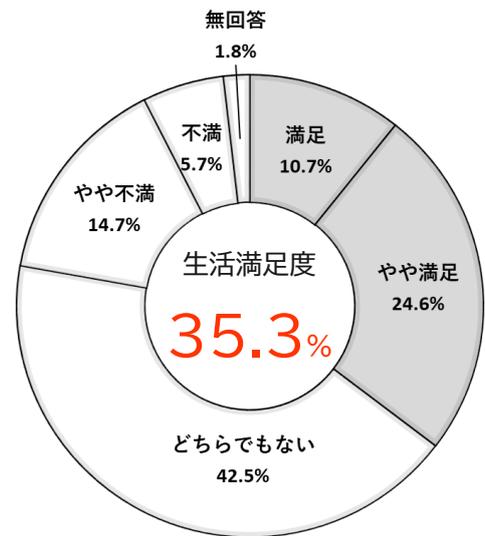
まちが好きな理由(複数回答(選択)可)

自然環境が良いから	262	(34.4%)
温泉等があり、老後を楽しめるから	160	(21.0%)
食べ物がおいしいから	157	(20.6%)
芸術や文化にあふれたまちだから	48	(6.3%)
まち並みが好きだから	33	(4.3%)
医療・福祉が充実し、安心だから	33	(4.3%)
子育てしやすい環境だから	27	(3.6%)
産業に活気があるから	10	(1.3%)
その他	32	(4.2%)

(2)生活満足度

○あなたは白老町の生活に満足していますか。

	(%)	
	3年度	5年度
満足	11.4	10.7
やや満足	29.2	24.6
どちらでもない	41.4	42.5
やや不満	11.9	14.7
不満	5.1	5.7
無回答	1.1	1.8

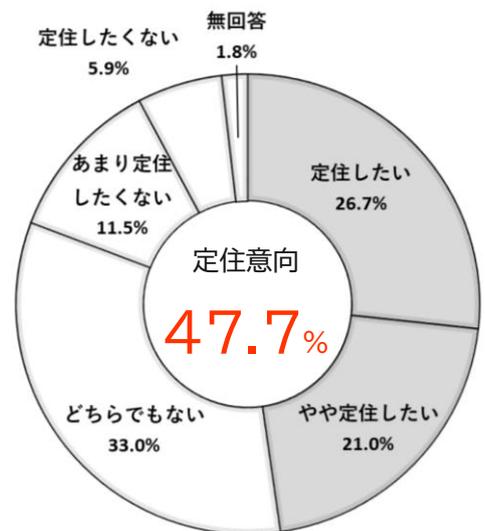


N(サンプル数) = 775

(3)定住意向

○あなたはこれからも白老町に定住したいと思いますか。

	(%)	
	3年度	5年度
定住したい	24.1	26.7
やや定住したい	24.5	21.0
どちらでもない	33.6	33.0
あまり定住したくない	8.8	11.5
定住したくない	7.6	5.9
無回答	1.3	1.8



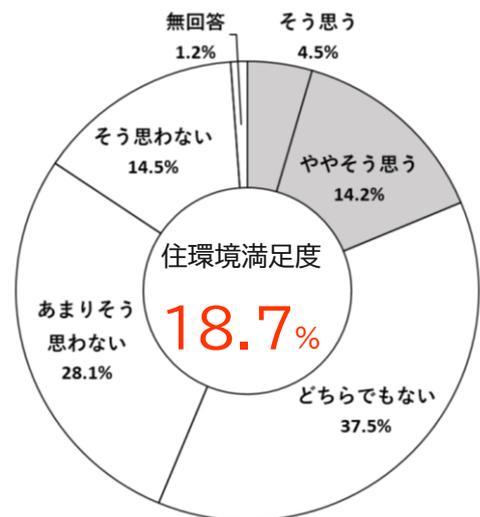
N(サンプル数) = 775

	(%)					
	定住したい	やや定住したい	どちらでもない	あまり定住したくない	定住したくない	無回答
20歳未満	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20歳代	12.1	18.2	33.3	21.2	15.2	0.0
30歳代	18.8	20.3	35.9	15.6	9.4	0.0
40歳代	25.0	27.8	30.6	11.1	5.6	0.0
50歳代	16.1	17.2	42.5	17.2	6.9	0.0
60歳代	24.7	21.2	35.9	9.4	7.6	1.2
70歳以上	33.6	21.7	30.0	9.2	3.4	2.1
年代不明	27.8	11.1	22.2	5.6	5.6	27.8

(4)住環境満足度

○白老町は快適な住環境が整備されていると思いますか。
(%)

	3年度	5年度
そう思う	5.1	4.5
ややそう思う	16.6	14.2
どちらでもない	45.4	37.5
あまりそう思わない	21.8	28.1
そう思わない	10.2	14.5
無回答	0.9	1.2

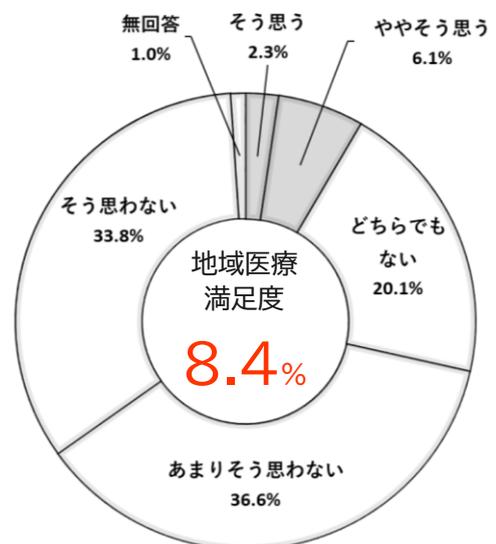


N(サンプル数) =775

(5)地域医療満足度

○あなたは、白老町に住んでいて安心して医療を受けることができますか。

	3年度	5年度
そう思う	3.3	2.3
ややそう思う	6.6	6.1
どちらでもない	25.3	20.1
あまりそう思わない	32.7	36.6
そう思わない	31.1	33.8
無回答	1.1	1.0



N(サンプル数) =775

【分析】

○愛着度

前回比、3.0ポイント減の47.2%となりました。主な内訳として、「どちらでもない」が2.0ポイント増加し、「やや好き」が3.5ポイント減少しました。40歳代以下で50%以上が「好き」「やや好き」と回答しています。また、30歳代は20.3%が「嫌い」「やや嫌い」と回答しています。

○生活満足度

前回比、5.3ポイント減の35.3%となりました。

○定住意向

前回比、0.9ポイント減の47.7%となりました。年代別では、40歳代、70歳以上で、定住意向が強く、また、20歳代では、「あまり定住したくない」「定住したくない」の回答が36.4%と高い結果になりました。

○住環境満足度

前回比、3.0ポイント減の18.7%となりました。

○地域医療満足度

前回比、1.5ポイント減の8.4%となりました。

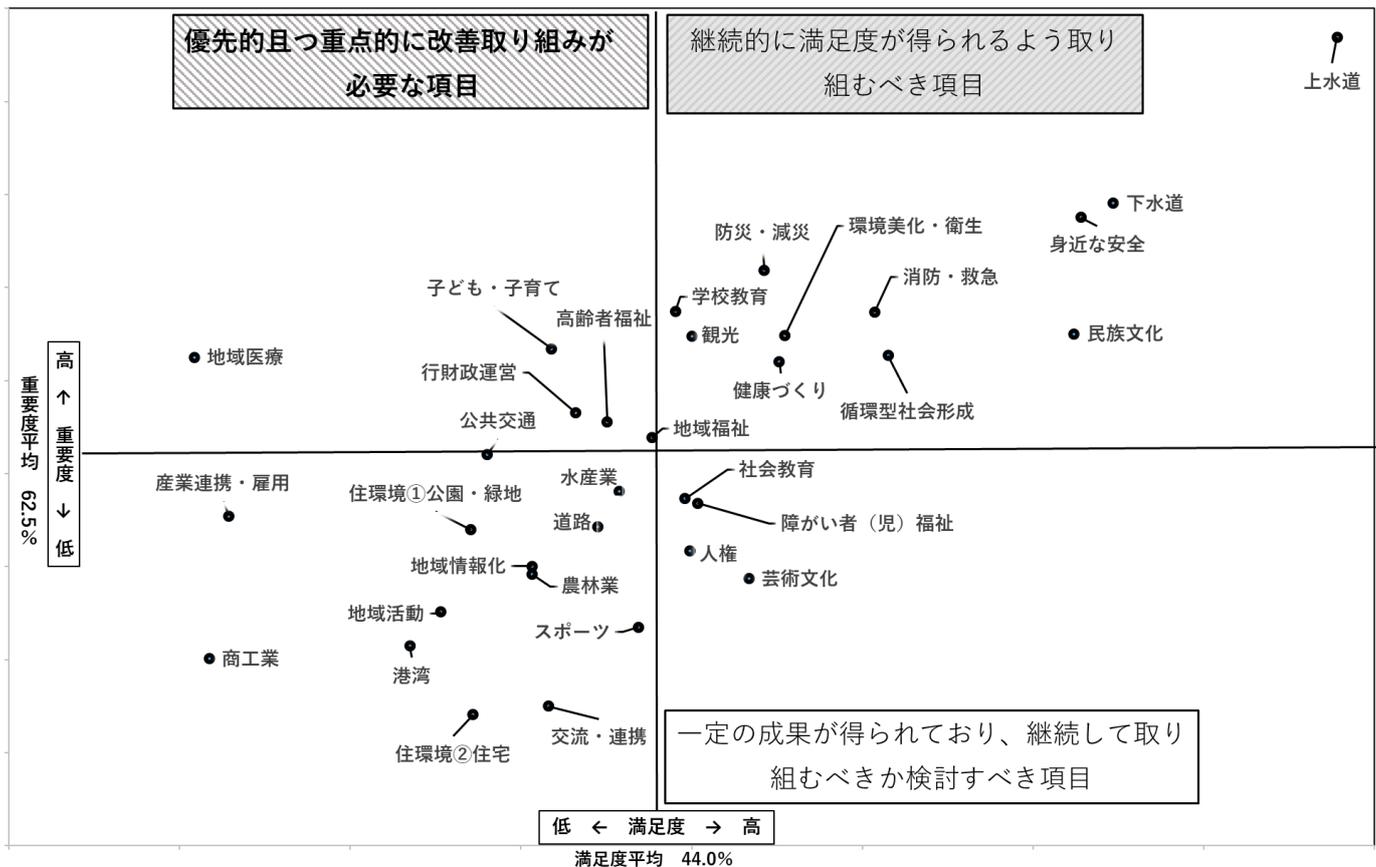
■ 施策満足度・重要度 ※((N=)は集計に使用したサンプル数))

(1)一覧表

		満足度(%)		重要度(%)		改善度	
		3年度	5年度	3年度	5年度	3年度	5年度
生活環境	身近な安全	57.0	56.4(N=766)	69.5	67.5(N=741)	5.8	5.2
	防災・減災	49.9	47.1(N=765)	70.3	66.3(N=744)	10.2	10.2
	消防・救急	50.3	50.3(N=764)	69.5	65.4(N=742)	9.6	7.6
	環境美化・衛生	58.8	47.7(N=760)	67.3	64.9(N=743)	3.9	9.1
	循環型社会形成	50.4	50.7(N=762)	65.8	64.5(N=741)	7.6	6.8
	住環境①公園・緑地	44.7	38.5(N=763)	61.7	60.7(N=741)	9.9	15.5
	住環境②住宅		38.6(N=750)		56.8(N=733)		11.3
	公共交通	39.2	39.0(N=760)	63.4	62.4(N=737)	16.0	16.0
	道路	45.3	42.2(N=761)	61.9	60.8(N=739)	9.5	12.0
	上水道	56.6	63.9(N=766)	68.0	71.3(N=747)	5.3	3.4
	下水道		57.3(N=766)		67.8(N=748)		4.9
	地域情報化	41.2	40.3(N=747)	61.5	60.0(N=737)	13.3	13.8
健康福祉	健康づくり	51.2	47.5(N=760)	66.1	64.4(N=743)	7.3	8.9
	地域医療	30.6	30.4(N=767)	67.1	64.5(N=750)	24.8	22.1
	子ども・子育て	41.4	40.8(N=733)	67.4	64.6(N=722)	15.4	14.8
	地域福祉	45.2	43.8(N=758)	63.5	62.7(N=738)	10.3	11.2
	高齢者福祉	44.3	42.5(N=763)	64.8	63.0(N=742)	11.6	12.6
	障がい者(児)福祉	46.9	45.1(N=750)	64.4	61.3(N=728)	9.4	9.4
教育文化	学校教育	43.3	44.5(N=735)	68.3	65.4(N=725)	14.1	11.8
	社会教育	44.5	44.8(N=737)	63.6	61.4(N=726)	10.9	9.7
	芸術文化	46.3	46.6(N=753)	59.6	59.7(N=734)	7.6	7.3
	スポーツ	45.5	43.4(N=751)	60.0	58.6(N=733)	8.4	10.0
	民族文化	60.2	56.2(N=754)	65.2	65.0(N=738)	2.3	4.1
	人権	48.5	44.9(N=748)	64.2	60.3(N=730)	8.1	9.1
経済産業	産業連携・雇用	29.8	31.4(N=744)	64.8	61.0(N=728)	22.6	18.3
	港湾	37.5	36.7(N=743)	61.1	58.2(N=732)	16.1	13.4
	商工業	25.4	30.8(N=758)	59.8	58.0(N=742)	19.6	15.7
	観光	43.0	45.0(N=746)	67.1	64.9(N=729)	13.8	11.2
	農林業	37.2	40.3(N=724)	60.3	59.8(N=709)	15.3	13.8
	水産業	43.6	42.8(N=722)	63.2	61.6(N=712)	11.6	11.6
	地域活動	40.0	37.7(N=741)	58.0	59.0(N=723)	11.9	13.8
地域自治	交流・連携	40.5	40.8(N=734)	59.2	56.9(N=721)	13.1	10.6
	行財政運営	39.3	41.6(N=729)	66.5	63.2(N=710)	17.0	13.6
平均		44.4	43.9	64.3	62.5	11.7	11.2

(2)分布図

CS分析結果



《分布図の見方について》

CS分析では、重要度平均と満足度平均を境に4つの分野に分け、領域ごとに次の様な評価ができます。

<p>重点改善領域 満足度: 平均値より低い 重要度: 平均値より高い</p>	<p>重点維持領域 満足度: 平均値より高い 重要度: 平均値より高い</p>
<p>改善領域 満足度: 平均値より低い 重要度: 平均値より低い</p>	<p>維持領域 満足度: 平均値より高い 重要度: 平均値より低い</p>

重点改善領域: 施策の重要性が広く町民に認識され、特に町民要望が高い項目と考えられる領域です。

重点維持領域: 施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取り組みにも満足している町民が多い領域です。

改善領域: 他の施策と比較して重要性の認識が低い項目で、重要性認識を高めるなど改善検討が必要と考えられる領域です。

維持領域: 他と比較してその重要性の認識は低いものの、現在の取り組みには満足している町民が多く、施策の重要性認知を高める必要がある領域です。

【満足度】上位5施策

1位 (4) 上水道 63.9%	2位 (4) 下水道 57.3%	3位 (3) 身近な安全 56.4%	4位 (1) 民族文化 56.2%	5位 (6) 循環型社会形 50.7%
---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	------------------------

【満足度】下位5施策

33位 (29) 地域医療 30.4%	32位 (31) 商工業 30.8%	31位 (30) 産業連携・雇用 31.4%	30位 (27) 港湾 36.7%	29位 (24) 地域活動 37.7%
------------------------	-----------------------	---------------------------	----------------------	------------------------

【重要度】上位5施策

1位 (5) 上水道 71.3%	2位 (5) 下水道 67.8%	3位 (2) 身近な安全 67.5%	4位 (1) 防災・減災 66.3%	5位 (3) 消防・救急 65.4%
---------------------	---------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

【重要度】下位5施策

33位 (23) 住環境 住宅 56.8%	32位 (30) 交流・連携 56.9%	31位 (28) 商工業 58.0%	30位 (25) 港湾 58.2%	29位 (27) スポーツ 58.6%
--------------------------	-------------------------	-----------------------	----------------------	------------------------

【改善度】上位5施策(今後改善すべき項目)

1位 (1) 地域医療 22.1 ポイント	2位 (2) 産業連携・雇用 18.3 ポイント	3位 (6) 公共交通 16.0 ポイント	4位 (3) 商工業 15.7 ポイント	5位 (19) 住環境 公園・緑地 15.5 ポイント
--------------------------	-----------------------------	--------------------------	-------------------------	--------------------------------

【分析】

- 全施策の平均値は、満足度が、43.9%(前回比、0.5 ポイント減少)、重要度が 62.5%(前回比、1.8 ポイント減少)となりました。
- 『優先的かつ重点的に改善(取組)が必要な施策(改善度が高い=満足度が低く、重要度が高い)』は、最も高いのが「地域医療」で、「産業連携・雇用」「公共交通」「商工業」と続き、また「住環境 公園・緑地」も前回調査結果より改善(取組)の必要性が高くなっています。
- 一方、『継続的に満足度が得られるよう取り組むべき項目(満足度、重要度共に高い)』では、「上水道」が最も良い評価となっており、また「下水道」「民族文化」「身近な安全」についても前回同様、高評価となっています。

■ 目標値に対する施策満足度

調査結果の満足度を「第6次白老町総合計画 2020-2027」に示している目標値までのポイントを下表に示します。

		満足度			
		令和9年 度目標	令和5年 度結果	目標達成 までの ポイント	
生活環境	身近な安全	安心して日々の生活を送ることができていると感じる町民の割合	64.3%	56.4%	7.9
	防災・減災	地域社会が一体となっている防災体制の構築が図られていると感じる町民の割合	60.4%	47.1%	13.3
	消防・救急	火災予防思想の普及や防災安全対策等により火災予防が図られていると感じる町民の割合	72.4%	50.3%	22.1
	環境美化・衛生	公衆衛生が確保され、モラルやマナーが向上していると感じる町民の割合	60.2%	47.7%	12.5
	循環型社会形成	ごみの減量・資源化等により循環型社会の実現が図られていると感じる町民の割合	61.7%	50.7%	11.0
	住環境①公園・緑地	公園や緑地、広場などが整備され憩いの場が保全されていると感じる町民の割合	60.1%	38.5%	21.6
	住環境②住宅	社会環境や多様なニーズに応じた良質な住宅や公営住宅が整備されていると感じる町民の割合	53.5%	38.6%	14.9
	公共交通	利便性の高い、魅力ある公共交通が維持・確保されていると感じる町民の割合	51.1%	39.0%	12.1
	道路	安全で快適な道路環境づくりが図られていると感じる町民の割合	55.3%	42.2%	13.1
	上水道	水道水の安全と安定的な供給体制が確保されていると感じる町民の割合	74.3%	63.9%	10.4
下水道	生活排水が適切に処理されていると感じる町民の割合	69.2%	57.3%	11.9	

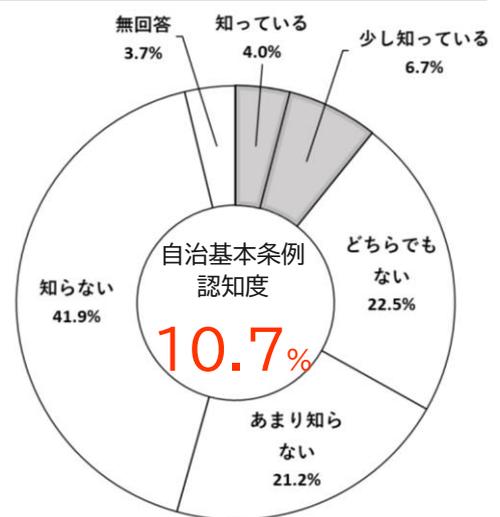
健康福祉	地域情報化	情報通信技術を活用したサービスが向上していると感じる町民の割合	58.0%	40.3%	17.7
	健康づくり	心身ともに健やかな暮らしの支援が充実していると感じる町民の割合	67.3%	47.5%	19.8
	地域医療	安全・安心で適切な医療サービスが受けられていると感じる町民の割合	50.7%	30.4%	20.3
	子ども・子育て	安心して子どもを産み育てられる支援が充実していると感じる町民の割合	58.0%	40.8%	17.2
	地域福祉	地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合	59.6%	43.8%	15.8
	高齢者福祉	高齢者が生涯にわたり、安心して住み慣れた地域でいきいきとした生活が送れると感じる町民の割合	62.8%	42.5%	20.3
	障がい者(児)福祉	障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ちながら安心して生活できると感じる町民の割合	62.3%	45.1%	17.2
教育文化	学校教育	子供たちが安心していきいきと学ぶことができると感じる町民の割合	59.6%	44.5%	15.1
	社会教育	社会教育活動が充実していると感じる町民の割合	59.4%	44.8%	14.6
	芸術文化	芸術・文化に触れる機会が充実していると感じる町民の割合	63.1%	46.6%	16.5
	スポーツ	運動に親しむことができる環境が充実していると感じる町民の割合	62.0%	43.4%	18.6
	民族文化	アイヌ文化が国内外各層に幅広く普及していると感じる町民の割合	66.2%	56.2%	10.0
経済産業	人権	人権に関する相談や支援体制の整備を推進していると感じる町民の割合	61.1%	44.9%	16.2
	産業連携・雇用	自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができる雇用環境が充実していると感じる町民の割合	57.0%	31.4%	25.6
	港湾	地方港湾白老港が整備され商港区や関連施設の利用が促進されていると感じる町民の割合	56.7%	36.7%	20.0
	商工業	新規企業の誘致や地域資源を活用した商品開発が推進されていると感じる町民の割合	50.3%	30.8%	19.5
	観光	おもてなしと思いやりの心あふれる受け入れ体制が充実していると感じる町民の割合	54.8%	45.0%	9.8
	農林業	安心安全な生産体制の確立や農業経営の強化、森林の整備・保全が促進されていると感じる町民の割合	58.6%	40.3%	18.3
	水産業	装備・機械の近代化や担い手の育成、漁場など生産基盤の整備がされていると感じる町民の割合	60.9%	42.8%	18.1
地域自治	地域活動	町民一人ひとりがまちの主体となり、「しあわせを感じるまち」が実現されていると感じる町民の割合	59.9%	37.7%	22.2
	交流・連携	国内外の姉妹都市との交流や近隣自治体との広域的な連携が推進されていると感じる町民の割合	60.8%	40.8%	20.0
	行財政運営	計画的で健全な財政運営がされており、迅速で質の高い行政サービスが提供されていると感じる町民の割合	55.9%	41.6%	14.3
平均			60.2%	43.9%	16.3

■ 自治基本条例

(1) 認知度

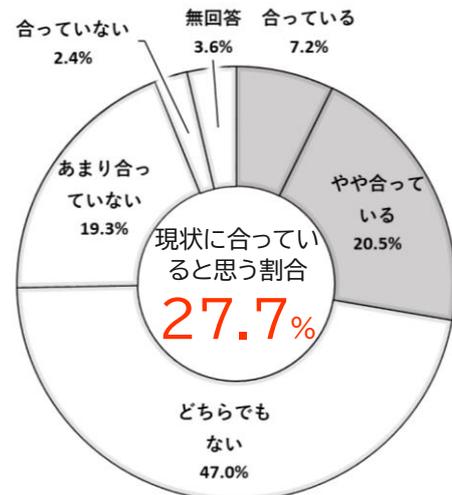
○あなたは「白老町自治基本条例」を知っていますか。

知っている	31	(4.0%)
少し知っている	52	(6.7%)
どちらでもない	174	(22.5%)
あまり知らない	164	(21.2%)
知らない	325	(41.9%)
無回答	29	(3.7%)



○前問で「知っている」または「少し知っている」と答えた方にお聞きします。現在の自治基本条例が白老を取り巻く現状に合っていると思いますか。

合っている	6	(7.2%)
やや合っている	17	(20.5%)
どちらでもない	39	(47.0%)
あまり合っていない	16	(19.3%)
合っていない	2	(2.4%)
無回答	3	(3.6%)

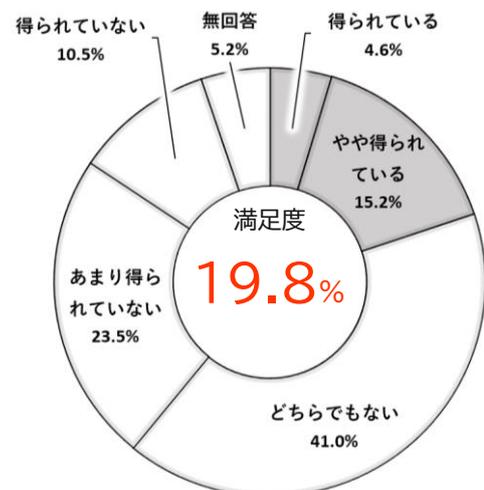


N(サンプル数) = 775

(2) 情報発信・町民参加

○あなたは役場から必要な情報(町のイベントや取り組み、制度等)が得られていると思いますか。

得られている	36	(4.6%)
やや得られている	118	(15.2%)
どちらでもない	318	(41.0%)
あまり得られていない	182	(23.5%)
得られていない	81	(10.5%)
無回答	40	(5.2%)



N(サンプル数) = 775

○あなたは役場からの情報を主にどのような手段で得ていますか。

広報げんき	599	(77.3%)
町内会回覧	69	(8.9%)
町ホームページ	34	(4.4%)
親族・知人等	24	(3.1%)
新聞	11	(1.4%)
町SNS	0	(0.0%)
その他	14	(1.8%)
無回答	24	(3.1%)

○あなたは町民参加の方法として、これまでに参加したことがあるものを教えてください。(複数回答(選択)可)

参加したことがない	345	(40.1%)
アンケート調査	280	(32.6%)
講演会・説明会	141	(16.4%)
出前講座	63	(7.3%)
審議会等委員	24	(2.8%)
パブリックコメント	7	(0.8%)

【分析】

○条例の認知度は10.7%と前回よりも2.4ポイント増加となった一方で、条例が現状に「合っている」「やや合っている」と回答した方の割合は27.7%と、前回45.2%から大きく減少しました。

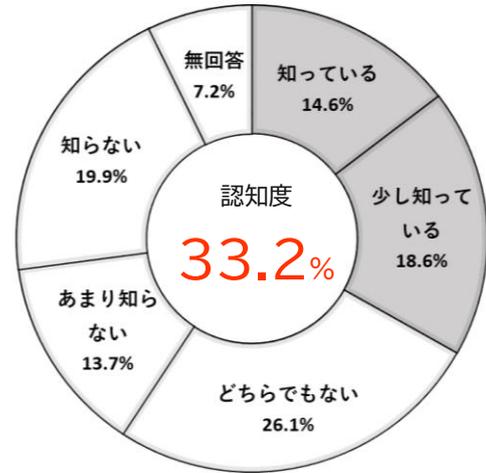
○情報発信に関する満足度は19.8%と前回よりも1.2ポイント増加となりました。

○行政からの主な情報源は「広報げんき」で、77.3%を占めました。また、半数以上の町民が町政へ参加していますが、「参加したことがない」の回答も40.1%となりました。

■ 多文化共生

○白老町が多文化共生のまちづくりを進めていることを知っていますか。

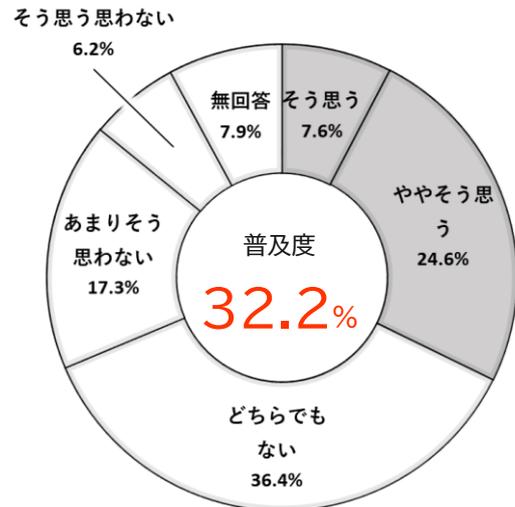
	(%)	
	3年度	5年度
知っている	15.9	14.6
少し知っている	21.8	18.6
どちらでもない	23.7	26.1
あまり知らない	11.9	13.7
知らない	19.1	19.9
無回答	7.5	7.2



N(サンプル数) = 775

○アイヌ文化や多文化共生への理解が深まったり、普及が進んでいると思いますか。

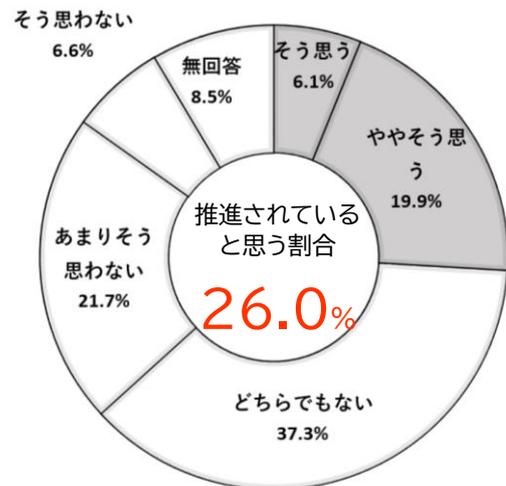
	(%)	
	3年度	5年度
そう思う	8.8	7.6
ややそう思う	24.6	24.6
どちらでもない	33.9	36.4
あまりそう思わない	15.1	17.3
そう思わない	9.2	6.2
無回答	8.3	7.9



N(サンプル数) = 775

○アイヌ文化や多文化共生(外国文化など)に関する教育が推進されていると思いますか。

	(%)	
	3年度	5年度
そう思う	6.3	6.1
ややそう思う	18.9	19.9
どちらでもない	36.9	37.3
あまりそう思わない	18.6	21.7
そう思わない	10.7	6.6
無回答	8.6	8.5



N(サンプル数) = 775

■ 施策に対する自由意見

※まちづくり(町政)に直接関係が無い、特定の組織や団体に向けた意見につきましては、調査の主旨を考慮し掲載を見送らせていただきます。また、誤字・脱字について一部修正しております。

子供が遊べる公園がないのが残念。苫小牧の北星公園まで行っている。アスレチックなど身体を動かせる公園が欲しい。

粗大ゴミの処理がわかりにくい。

施策 5-3 行財政運営に関しては、迅速で親切な対応が多く、とてもありがたいです。

公園に遊具がない。道路の整備が不十分。

コロナが明けて活動が徐々に再開される中で、堂々と「げんきまち」と言えるようにスポーツ大会や祭りなどのイベントを盛り上げてほしいです。

精神科医療については町外に頼りきりである。

あまり情報が入って来ないのでわからない部分が多いです。石山団地(温泉地帯)は路駐が多く大変困っています。どうか対応をお願いします。

防災無線の音割れが酷くて聴き取りづらいのが災害時等不安です。観光産業に力を入れているのはわかりますが、観光を重視し過ぎて住民への対応が後回しにされている気がします。マイナンバーをはじめ、いろいろな手続きや案内がデジタル化されていますがそれらに対する高齢者対応が追い付いていないように見えます。

経済力に関係なく、子供の学び(習い事等)を思う存分やらせてあげる施策があれば良いと思う。

津波や洪水の浸水区域を考えると、緑丘公住の辺りを再開発して、そこに役場を移転させて避難所としても建設すべき。

施策 2-3.子ども・子育て:安心して子供を育てられる環境ではないとおもいます。ひとり親です。昼も夜も収入を増やす為一生懸命働いています。収入が増えれば増えるほど支援が減るのはおかしい。ひとり親は所得制限なく支援してほしい。生活が苦しいから一生懸命働いて収入が増えるよう努力しているのに、収入が増えたら支援が減らされる現状。ずっと生活苦しいです。生活にも、気持ちにも余裕もてなく、安心して子育て出来ません。施策 1-6-1.住環境:野良猫が多い。隣の家の人か餌付けをしていて、餌を食べたあとにウチにオシッコやウンチをしていく。匂いに困っています。猫を飼うなら家の中で、飼えないのなら無責任に餌をあげないようにしてもらいたい。野良猫をどうにかして欲しいです。

お店が少なすぎる。

白老町内に大手グループのファミレス、ファストフード、高齢者なども利用しやすい喫茶店などのテナントの入っている中規模のショッピングセンターがあれば白老は変わると思います。

日々津波の心配をしています。安心して避難が出来る高い建物を建てて下さい。お願いします。

重層的支援体制整備事業を活用すべき。

子供達が安心して遊べる公園がありません。ミンタラ横の公園しか楽しめる所がないので、小さい子から中学生くらいまでの子供達が蜜になり危険を感じます。安心して遊べる公園の整備、修繕は急務だと思います。別件ですが、野球の町白老のはずなのに、ナイター設備のある練習場がなかったり、少年団の活動費は町からの支援もなく実質父母の負担です。おまけに白老中の部活動に野球が無いというのは理解できません。野球をやりたい子は中学生からは親は大金を出して、苫小牧の硬式野球チームに入れるしか選択肢がありません。野球をやりたい子はたくさん居るのに経済的理由で諦めているのが現状です。どうか、部活に野球を復活させて頂きたいです。

病院がなさすぎる。交通機関が不便です。

コンパクト都市構造が見えてこない。生活が落ち着かない。

歩道の植え込みは必要でしょうか？鹿が見えなくて怖いです。

・ミンタラの隣のふわふわドームがいつ行っても汚なくて、定期的に掃除して欲しい ・町立病院の医者が感じ悪いの多いから行きやすくして欲しい ・子供が遊ぶ遊具撤去しすぎて遊ぶ場所少なすぎる ・まだまだ交通の便が不便だから運転免許返納したら得できる様にして欲しい ・無料で楽しめる足湯を作って欲しい(手湯でも可) ・無料で町民が楽しめるイベントをもっと増やして欲しい(なるべく毎月) ・町内の借家の値段が高すぎるから見直して欲しい ・ウポポイの敷地内をもっと見て楽しめる場所を増やして欲しい ・空き家が多すぎるから利用方法考えて欲しい ・町内の除雪が毎年下手すぎて毎回迷惑かかっているの捨てる場所を考えてもらいたい

今、子育て中ですが、まだまだ子供達のために白老町としてできること、必要なことがあるのではと感じます。将来、今の子供達が白老を好きで働きたいと思うようなまちづくりをしてほしいと願います。

空き店舗を活用し、町民の憩いの場を作って欲しい。公園の壊れた遊具を直し、遊びやすい環境を。萩野児童館、かつてのように年齢問わず出入り出来るようにして欲しい。

夕方になると時報を知らせる音楽を、もう少し現代に合った音楽にしてもらえたらと思う。今流れている「七つの子」だと思うが、暗く憂鬱な気持ちになるので、もう少し明るく元気が出るような曲にってもらえたらと思う。童謡に限定せず、白老町のセンスが光る独特の曲を期待しています。

・白老町でも最も良質な水は、どこの水ですか ・水道水に含まれる塩素はやや強いのではないですか ・水害対策は極めて不十分だと思います ・下水道は更に整備されているとは思いません ・水害対策、下水道はなかなか改善されていません ・白老本町は駅(含むトイレ)など他の地域との差があるくらいです。また、駅の跨線橋もすべてが全く充分ではありません ・小学校だけは各地区に設置するは変更を絶対にしないでください

婚活をしやすくしてほしい。人との出会いが多くある町作り、イベントなど。

野良猫、空家、町中の道路、公衆トイレ、公園等々の美化対策を積極的に行って貰いたい。せっかく民族博物館が出来たのだから、沢山の人が来てもらいたく、恥ずかしくないようなきれいな街を目指してほしい。

・白老町にはいいものがたくさんあるのに(特に畜産物、野菜、魚介など)大きな道の駅を作らないのか。ウポポイばかりに気がいっているのではないか ・虎杖浜山側の避難場所について、山に避難することになっているが人が登れる、下れるような道もないのに、高齢者も多いのにどうやって避難しろというのか ・働き世代には何も無いのか、苦しいのはどの世代も同じ！！

環境美化・衛生の事ですが、役場近く、主に白老神社の桜並木の桜がととても弱っていて枯れそうになっている桜がある事が気になっています。専門の方などに見ていただいているのでしょうか？コミセンにある八重桜も枯れている枝があって、数年したらすべて枯れてしまわないか心配しています。

町の中心部に人通りがない。若い人が町にいる感じがしない。

高齢者の多い地域に住んでいるので、買い物や通院に不便さを感じています。また、近所に中国人が住んでいて騒音も多く会話も通じないので、とても困っています。住宅地に居住目的の他に作業場として使うことは近隣の迷惑を考えない不動産業者にいささか腹立ちます。しかし、一個人では何もできないので…。豊かな自然があるのに十分活用できていない気がします。空き家の問題もあり又、動物のことも今後増々考えなくてはならないと思います(鹿、キツネはしょっちゅう町中を歩いてます)。

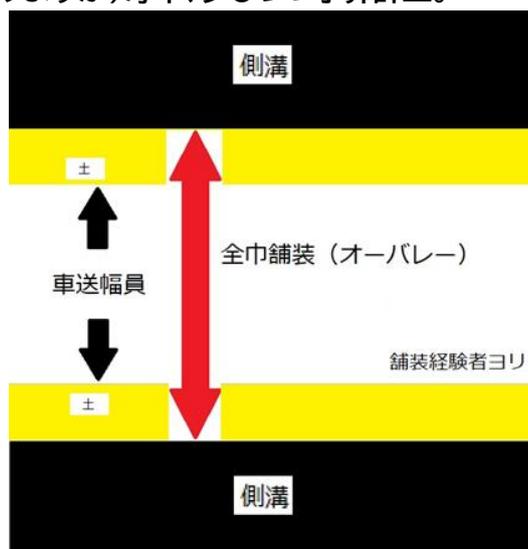
通所介護どんぐりにお世話になっています。週1回ですが、楽しく、待ち遠しく思うこの頃です。感謝です。

ゴミ有料化時に参加し主婦の立場で、どうしたら汚れないか？に体験として話し、祭日に混乱しないように集めるように要望し、現在も活かされていて町政参加の手ごたえを感じて一人悦に入ってます。又、白老清掃に日々感謝している町民です。(人がいやがる仕事を懸命にやる姿は立派です) 他地区の方から、小さな町なのに下水道の整備が早くて羨ましいとよく言われ一寸うれしく、また先人の方々にこの事は感謝しています。そして”スズメ”達に云います「チクリ」じゃなく、よいところをみて暮らそうよ!!縁あって根を張ったんだからと。

”白老町は何を目指しているかわからない。せつかくウポポイが出来たのに、街並みが汚すぎる。街路樹一つとっても整備がなされていないし、観光に力を入れているのかもハッキリしない。外から訪れる人をもてなす気がまるきり感じない。飲食店もあきれほど少ない。すべてセンスが欠けている。白老方面と萩野・竹浦方面の行政の力の入れ方が格差がありすぎる。竹浦方面を町民と思ってないくらいひどい。税金を払っているのがバカくさくなるくらい、行政にセンス・活力・思考力がなさすぎる。期待していいのだろうか？”

・町職員(きたこがし)が町民を虐待している実態が新聞報道されて衝撃を受けた一町民です。取り急ぎ改善されたい。・この「まちづくり町民意識調査」の結果は、「白老広報」等の紙面で町民に公表してください。

建設課にお願い。毎年、冬期除雪にて舗装道路がクラック個所よりはがされてその度修繕しなければならない。側溝(トラフ)まで舗装を(オーバーレー)していただければ多少修繕も減ると思いますが、いかがでしょうか？(お金はかかりますが)毎年、少しずつ予算計上。



・個人事業主の地域おこし事業に対する補助の拡充 ・感染症対策を国の基準に準ずるのではなく独自の対策基準に法って行える体制作りが必要 ・一連のコロナ騒動に対する各データの客観的な評価を独自に行い、町民に還元 ・ゴミ拾いの日を月一回程設け(任意)、各自治体にゴミ拾い用のゴミ袋を配布して散歩がてらゴミを拾ってほしいと呼びかける ・ポロトミンタラのところの公園をグレードアップして、子どもの遊び場を大きくしてほしい ・母子手帳の廃止し、個性を尊重するケアの充実を図ってほしい ・町の両端の国道に「イランカラプテ、ようこそ元気のまち白老町へ」「またのお越しを心からお待ちしております」の看板がほしい

町内各公園を整備してほしい。

子どもが遊べる場所が少ないと思います。今はどこの公園も使用禁止のテープがはられていて思う存分遊ぶことができないでいます。一つ一つの公園を整備するのは難しいと思いますが、ポロトミンタラや桜ヶ丘公園のような広い所に北星公園みたいな大きな公園が出来ると嬉しいです。また、コロナが落ち着いてきたら姉妹都市との交流でこども達が世界とつながれたらいいなと思います。一般

的に都会よりも田舎の方が学力が低そうなので、大人になって白老から出た時にも困らないように学力差を減らしてあげたいし、田舎ならではの学びもたくさん学ばせてあげられたら嬉しいです。

移住 1 年半なので、回答できない設問が多かった。40 代子なしなので、移住促進の町の取組の恩恵を受けられなかった(ほぼ 50)。町で移住を進めているのに石山は製紙工場の大気汚染で窓を開けられない日があり苦情を言ったが改善の兆候はない。自然だ海だ山だ森だと確かに満足度が高い点もあるが、空気が臭いのは致命的なマイナス点。国の基準をクリアしているから良いということではなく、町の HP に「空気もおいしい」と自信を持って掲載できるように踏み込んだ話し合いを工場としてもらいたい。できないなら移住を促進するエリアを限るか、不定期ににおうことがあると本当の事を掲載すべきだ。メンテナンスの5~6月は本当に空気がキレイだ。このこと以外は大変満足しています。

ウポポイを始めとしてアイヌ文化等々に依存しすぎ。観光に結びつけようとしているようだが、コロナウィルスまん延中のように浮き沈みが激しく不安定。それに引き替え第一次産業はすべて食につながる。安定性が高い。安定性の高い産業を町の土台とする事で町の成長が有るのではないか?と思う。せっかくブランド白老牛を他の資本の牧場に利用されているようではいかがなものか。漁業に関しても育てる漁業にウエートを上げていかなければ、取れない取れないでは先はどうなるのか?というも思っています。

大企業がなくなったら町はどうなる!!

子供優先ばかりで低所得者に対して何も無い。物価高の中、苦小牧、登別よりもほとんど高い料金で暮らすのに働いても税金の請求ばかりでギリギリです。払うのもやっとなです。低所得者にも支援してほしい。役場の方の対応→上から目線はやめてほしい。

・複合施設、グループホーム等、入居する場合、月 10 万円以上の所が多い。町が行い、低い金額で入居できるよう希望します(厚真町では月 6 万円のところがある)。・町内で中学校の野球チームを設立してほしい(野球のまち白老)。教育委員会、体育協会等が頭に立ち、町民・子供たちに夢と希望を与えてほしい。

・町立病院は小児科をもっと充実してほしい ・いつも違う先生なので、かかりつけには向いていない ・だからといって他に小児科のある病院もない ・結局苦小牧まで通わなくてはならず、不便だし不安 ・閉まるのも早すぎるので、共働き世帯は利用づらい

日頃の町政運営や住み良い街づくりへの努力に対し、心より感謝申し上げます。私が気になっている事ですが、公園遊具ですがどこの公園に行っても使用禁止が多く、子を持つ母親が遊ばせられる公園がなく、困っているとの声をよく聞きます。財政面での都合もあるでしょうが、早期対策を宜しくお願い致します。

子どもの遊ぶ施設が最近新しくなったところもあるが、もっともっと環境整備もしていただき、今後産まれる子どもたちの将来を守ってほしい。子どもを産んでも安心して暮らせるまちにしてほしい。白老港は老朽化が深刻、ケガ人が出てから修繕している現状に目を向けてほしい。車の転落事故もあったが、車輪止めの老朽化はすみやかに整備すべきかと。一般人に釣り人が、白老港での釣りの禁止を言っているが、現状お見かけする機会もあるため、次いつ同じような事故が起きてしまうか不安。国も農業には目を向けているが、漁業も様々な問題をかかえている。漁業へ積極的な施策を期待している。

ウポポイ周辺及び駅通りは別にして、白老町の歩道は高齢者と障がい者には段差と傾きが大きく多く、車道を歩くことが多い。これから高齢化に進む事になるにつれ住みづらい町になるのかなと思われまます。多額の整備費がかかりますが必要な事と考えてます。

・移動する時に運行時間が少ない等交通の便が悪い為、高齢になっても運転免許証を返納できない ・病院の科が少ない為、大きな町へ行かなくてはいけない ・人口が減り利便性が悪いので増やせないのは理解できるが、その為に他の町へ転居していく人も多いのは事実だと思う

社台、萩野、竹浦、虎杖浜のお年寄の買い物が問題。せめて萩野にスーパーが必要と思います。コンビニだけというのは問題です。コンビニの価格とスーパーでは、全然違う。移動販売だけではだめだと思う。子育て世代・お年寄りにやさしい町づくりがんばって下さい。

限られた予算の中で、あれもこれも出来ないの、とにかく人口を増やす施策をとらないと町がなり立たなくなる。温泉や雪が少ないなど条件は最高なのにそれを生かしきれていない。もったいない、もったいない、もったいない。

元気号やデマンドバスのルート等が、ちよくちよく変わり、覚えたのに変わるので利用しずらく感じた事があった。町内の公園の遊具がほとんど使えない状態で残念。自転車や車でいくと遊べる公園はあるけど、家のすぐ前の公園はブランコも滑り台も、のぼり棒もシーソーも、うんていも使えない。遊具が使用禁止になってから、子供は公園に行かなくなった。あと数年経ったらうちの子は遊具で遊ばない年齢になるので、早く新しい遊具を設置してほしい。

バスの便数増やしてほしい。JRも増便を。公園の増設と環境保全。

行財政の資金に関しては、限界があるので無理がありますよね。20年前とは比べると減るのは当然ですよね。町民も求めすぎではダメですよね。増税又は消費税をアップする以外は、無理なのは当然な話で、何かを求める時は増税又は消費税に反対する町民・国民では向上しないです。

コンビニだけではなく、空所がたくさんあるので、観光客も増加している関係上、ドライブスルー等、白老牛、マザーズだけに頼らず、他にも大手の店舗を呼び込むと、もっと客層が増えて豊かな町になると思うのですが！！地方から来た人が、物価の事で言っていた為、どうにかならないか。食べよう・買おうとしても高すぎて簡単には買えない。富裕層が狙いなのかと言っていた。コンビニだけに頼るな！！とも。

年金だけで生活できるか心配。税金、水道代などのくらい高くなるか心配。

文化的でない。

市街地より遠い為、デマンドバスの送迎が助かってます。

・ラジオの FM やカーTV が受信できないので改善策を希望する ・道路の4車線化！！ ・港に関して・・・遊覧など(観光客向け)

小児科・皮膚科・呼吸器科にかかる時に、受け入れる時間が短いため、苦小牧に行くことが多い。夜に子供が体調不良となっても受け入れてくれないことが多かった。白老に転入してから、病院や子ども用品の購入に困る事が多く感じている。妻が持病のため自家用車を運転できないので、タクシーやバス、自転車でなんとかしている。

ウポポイと町民の距離が長い。関わりが薄い。

まずは質問の字が小さくて目が疲れました。地域の交通網が反映されていない、地基がありますよ？人口減少が進んでる。若い人達の働く職場など少ない。ウポポイも町民の為になってない。ただの金もうけに過ぎないと感じる。町との関わりがなく、国が主導してアイヌ、町にはメリットがない。

・雨が降ると川がすぐ濁る。白老町は河川及び周辺の砂利、砂の採取が非常に多い。保全がなっていない！ ・港があっても肉牛で有名でも町民に恩恵がない！ ・農・林・商・漁が一体となって、白老町の道の駅を作れないか！

記入はしましたが、よくわからない項目も有ります。これも問題であると感じます。伝え、知らしめる必要もあると考えます。

若い人が私事・観光・遊び多く行き来してその刺激をもらい進化して、さらには老人の知恵を学び生かして、進化していく町がいいなと思う。

窓口で相談しても「今は予算的に無理です」と言われるので、特に無しです。

私は81歳ですので今の人の考えとはちがうと思います。時代の流れでしょうね。でも今の役場の健

康の方はすごく良いと思います。よその町からみると健康面では良い方だと思います。元気号を見るのがとても楽しみです。

町を発展させるには、若い世代の住民を増やさなければならないと考えます。①雪が少ない②温泉利用により暖房費がほぼかからない③土地が安いなど、家計的なメリットがあります。この魅力を若い世代にアピールしてはどうでしょう。そのためにはウポポイ周辺以外の住宅街にも足を踏み入れて見てもらう必要があります。町内には日帰り入浴ができる施設が案外多くあるように感じています。そこで別府市の「別府八湯温泉道」のようなスタンプラリーをやってみて、町内を広く散策してもらうのも一考かと…せっかくウポポイまできてくれたのなら、ほかもみてもらわないとね！

東虎杖浜バス停の前に横断歩道がないのが不便です。冬などは吹雪や足元の凍っている状態もあり大変危険です。登別側の踏切に通じている住宅地山側の通りは春、夏になると木が茂るので見通しが悪く、山と地続きになっている場所なのでヒグマが心配です。枝が道に突き出しているので車で通る時も不便です。防災無線は聞き取りやすいように音量を上げてください。

・町道がデコボコ ・移住者のマナーが悪い(ゴミ等) ・町内会の役員がまわってくると、札幌へ帰ってしまった※審査とかないんですか

何事も不便。

・学校の先生の負担をなくすような取り組みをしてほしい ・学校にいつも日の丸が掲げられているのは、いかがなものか。日の丸は強制されないもの。アイヌ民族を日本政府が侵略した時のシンボルが日の丸である。”内国植民地”と呼ばれた。いろいろな考えの人が生活しているということにもっと思いをはせてほしい ・ICT が活用されればよいという風潮が全国どの自治体にもあるように感じる。いったい、どれくらいの自治体がマイナス面や危険に目を向けているだろうか。マイナス面について深く考慮せずに、どんどんデジタル化が進む事に大きな危機感を持っている。ぜひ、町長はじめ担当者には、ジャーナリストの堤 未果さんの著書「デジタル・ファシズム」を読んでほしい。デジタル化はバラ色の未来をもたらす魔法の特効薬ではない

・デマンドバスはとってもありがたく思っておりますが、もう少し本数があると、とってもありがたく思います ・若者の働く場が少ないですね。なかなか永住する気がない若者が多いように思います 期待していません。

高齢になると病院が必要。いつでも診てくれる安心安全頼れる病院であってほしい。自分ももっと高齢になると町立病院ではもの足りなく、苦小牧にかかりつけの病院を見つけなければならない。病院スタッフばかり多く、自分もかかりたいと思える病院をつくって欲しい。新築しても意味がない！

・アイヌ、ウポポイに力が入って、他がおろそかに見える。観光も大事だが、住民第一だと思う ・住んで5年以上経つが、住みにくいと思っている。住民地が部落のように分かれているので、まとまりがなく思う。少しずつ住みよくなると願います ・差別ではないが、アイヌで収入を得るのはあと数年だろう。早く次を見つけなければいけないだろう

病院が悪すぎるので、町外へ行く。町内で良い医療があれば良いと思う。高齢者のマナーが悪すぎる。道を歩いたり車の運転など、悪すぎて大変危ないと感じる。

・子育てにお金がかかる ・幼稚園の選択ができない(数がない)。同じようなところしかない。子供が楽しくなさそうでも、仕方がないので登園させるしかない

・デマンドバスの需要は高いと感じる ・広報「げんき」で毎月情報を収集している

・緑地、広場等の整備(草刈)を年間数回行ない憩いの場の確保 ・町づくりのための職員が巡回(大町商店街)の環境整備(街灯が傾いている)

1.医療機関の充実 2.公園の遊具の整備不十分

・上下水道代が高い ・もっと子ども達が遊べる公園等が必要だと思う ・子育てにお金がかかる

各階層の意見をしっかりとめて、白老町のどこかに、道の駅を実現してほしいと思います。

子どもがいて、外で遊ぶ時、時期に釣りに来る地方の人が車で家の前を飛ばすため、事故が心配。表示等を増やしてほしい。子どもの遊ぶ場を増やしてほしい。(雨の日も室内で遊べる場)

学校にろくに行っていないのでわからないのが多いこともある。字が読めない。

解答しづらい設問もあり、解答に苦慮する。

国が3月に発表した物価高騰対策の非課税世帯給付金3万円について、役場に問い合わせた結果、只今検討中とのご返答があり、決まり次第、対象者に通知するとのことでした。この遅れの原因は何なのか分かりませんが、少し遅すぎるのではないかと思います。以前、コロナ給付金として入金を頂いた経緯があるので、出来たらスムーズに入金して頂くことを願っております。対応して下さった方は、非常にていねいな言葉遣いでしたが、やや説明不足だった気がします。

特になし。

空家対策、高齢者の買い物難民、先行不安ばかりです。

町立病院に対するアンケート箱を設置してほしい。以前の先生が辞めてから、聴診器で胸の音を聞く事は1回もない。血液検査の結果の数値を見て、話すだけ。病院を変えようかと思っている。

一番重要な子供を増やす政策が示されていない事が非常に残念です。若い人を町にとどめる政策、一人でも多くの子供を産んでもらえる政策、是非ともお願いします。

白老町は、食材王国と呼ばれるように、海産物、牛肉、キノコ、タマゴが豊富ですが全然いかしきれていない。これからは、観光がメインになると思うので、国立博物館、北海道遺産を軸に食材をマッチングした町作りを進めてほしいと思います。

静かで自然も多くウォーキングに適した町だと思いますが車で出かける場合は、鹿が出て来て何回か怖い思いをしています。大滝線は仕方がないですが、見通し良く草刈りをして欲しい所が何カ所もあります。鹿対策よろしくをお願いします。

町営住宅の料金を下げて欲しい。空部屋が多い。

弱者、老人対策充実の要望 ・高齢者自動車免許証返納後の交通手段の保証。 ・病院診療機関の充実を図り通院が安心できるようにして欲しい。

スポーツにしろ会合にしろ乗り物の手だてが必要です。もう少し間近でできないのでしょうか。小さな子供 学校が遠く歩く姿がかわいそうです。特に雨の日 雪の日 風の強い日。

これからますます人口が減ります。白老町の考えはどうなんでしょうか。私達夫婦あと何年生きられるか？80代夫 70代妻

港の釣り禁止場所の開放。

白老に越して1年ほどたちましたが、周りの人もやさしく暮らしやすくとても気に入っています。ただ老後は交通や医療条件を考えると住みつづけるのは難しいかなあとと思います。温泉付の家が普通にあるのって白老の素晴らしいところだと思います。もっと移住する人にアピールすればいいんじゃないかなあ。

1.情報発信力を高める。商工観光のタウン誌の発行(イベント、活動、風景など季節・・・) 2.主要幹線道路、歩道・街路の整備 高齢者、障がい者、子供、ウォーキング者などや災害時の誘導路に繋がる整備 3.公共施設の取り壊しを新たな公共整備、避難緑地(仮設、避難所など) 4.農地未利用地全地域での家畜飼料生産 農協と行政で個人生産者から買い取り、飼料工場運営 5.情操教育の推進、知的好奇心など創造を目から育むため、行政主体で(リサイクルペットボトルで災害時の使える物を作るなど、廃材や間伐材を利用した取組など) 6.人口減に伴う、議員定数の削減と報酬減額、町未来を共に考える議員を必要

元気号バスの空席が目立ちますが？もっと小さめのバスでも良いかと思っています。

老後の生活が不安でいっぱい。

町全体として人口減、働く所もない。いづれ町政も立ち行かなくなる。箱物(港、アイヌ)等、いくら作っても最後には町民が負担しなければならなくなる。産業がない。いづれ小さな部分のみ細々と残るだけだろう。私もあと数年しかないから、しかたなく住んでいる。何かあれば苫小牧に行くしかない(買い物、病院、その他)。夢を語るのは良いけど、現実を見た方が良い。

道路良くしてほしいです(ほ装がななめってきています)。

公園の遊具がほとんど「つかえません」となっています。不快感を覚えるのでどうせ使えないなら撤去してはどうですか？何が理由で使えないのか理由もわからないので。水道検針に町外の人が採用になったようですが、財政難なら町内の方を採用し、一円でも多く税金を納めてもらっては如何でしょうか？ 12 時のサイレンをイランカラプテの歌(何とかの旅人？)(ウポポイ開業前に 12 時半頃に流れていた)にかえてほしいです。登別だって「いい湯だな」を流していますよね？

パークゴルフは高齢者にとって最適のスポーツかと思います。打つ時の緊張感、カップインの爽快感、カウントをまちがえないようボケ防止。楽しみながらいつの間にか 5000 歩、1 万歩運動し、心地よい疲労感、青空の下草原を歩くのは最高です。パークゴルフ場の割引券、色々なイベントを開催して競技人口を増やしてほしいと思います。その時は参加しやすくクラブ、ボールの貸し出しもお願いします。

高齢化が進み、運転免許の返納などで年配の方の足の確保。循環バスの活用の見直しが必要。有料は当然と思いますが、何となく気軽に乗れる環境づくり等。連携して町内会の見直し、1 人暮らし等の方も増える為、隣近所との無理のないコミュニケーションとれる環境づくり必要(民生委員などの協力)。

見える、実感できる施策不足。

川沿団地(美園団地)C 棟駐車場が他の棟と比べ狭すぎ、一家で2台、3台と駐車場に置いて有るためはっきり言って駐車場にいれずらい、一番奥来客用駐車場まで占拠しているため路上駐車せざるをえない。早急の対策を！白老町が対策を取らないのならば独自で強制排除も視野に考えておりますので宜しく！

車いすなので選挙に行きたくても行けない事です。

今後、方向性を変えない限り、この町の発展はもうないと思います。町長や町議などに色々訴えてきたのですが、話は聞いてくれるのですが、その後は何もないのでどうすることもできません。この町のためにと思い色々と事業を考えていたのですが、どれも叶いそうにありません。今後は町外で事業を考えています。

官民一体が非常に弱い。若者を育てる力、移住する体制が非常に弱い。町民のアイデアや意見を聞き入れると良いと思う。

デマンドバスについて・・・歩く事が大変な方などバス停を増やしてほしい。札幌往復の JR 時間にあわせてほしい。子供たちが帰省しやすくなる。お客さんも。白老お土産について・・・店舗を増やしてほしい。名産のお菓子を作ってください。例えば、マザーズで白老お土産とわかるような物です。高齢者が元気で住みやすい町づくりに工夫 例えば送迎付きのイベント・・・交通に不便出かけにくい・・・物騒な事件が全国であるので、安心、安全な町でありますようパトロールを定期的に行うなど！

・道路・下水側溝等整備がなされてなく、不潔極まりない。・舗装路面も極端にはがれ、個人で砂利を購入し、敷きつめても冬期除雪で砂利がなくなってしまう。道路点検も大切なことでは？

今回この様な調査書がはじめてなのでうまく回答ができなくて申しわけありません。この先も住民のため生活しやすい町にして下さい。よろしく申し上げます。

(要望)1.土木課へ 道路(町道)がゆがみ私有地内へ側溝がめぐり上がっている 計画的に整備をお願いしたい。”現状把握とリスト UP” 2.建設課へ 現住されていない(他地区 or 他市町村に住んでいる)人達が広い物置 24 坪ほどを建てており 時々 来て 木材等を燃やしている 許可されている

か疑問である?! 3.古民家 住人不在(死亡)の家があり、倒壊状態である。小動物がいる。(のらねこ等) 上記について役場が見廻りをしていただきたい。対策を。

他の町より水道料が高いと思います。

ウポポイや温泉で集客があっても定住には・・ 雑草はのび放題、歩道があっても歩く気にならず、恵庭の『花ロード』のように環境が整っていたら住んでみたいという気持ちになると思います スポーツ施設(特にテニスコート)や建物の老朽化はふるさと納税でどうにかなりませんか?スポーツと無縁の人にとってはどうでもいい事かもしれませんが、スポーツ関係者にとっては死活問題。健康維持で『元気まち』にするためにもスポーツ施設の充実は大切なことだと思います。真新しいものでなくても安全に使えるための整備はしてほしいものです。

道路整備は進んでいますが、車道・歩道の汚れがひどい。国道36号線ペットボトル等が捨てられている、誰も拾おうとしない。歩道については、歩行者が拾っているのをときどき見かける。車道については歩行者は危険が多くて出来ない、道路整備と同様、予算に組み入れて、きれいな道路にして下さい。

いきいき4・6の運動する所、再開してほしい。

町立病院の運営をどこかの医療法人に依頼してはどうでしょうか?今のままでは町民の信頼に沿うには難しいと思われます。アンケートの内容がもっと具体的なものであれば回答し易いかも。

老後の楽しみとしてパークゴルフを楽しんでいる町民がたくさんいますが料金が高すぎて足が遠のいている人もいます。ゴルフ場を営んでいる所も経営がギリギリと聞いています。パークゴルフのおかげで健康寿命も伸びていると感じます。ゴルフ場と白老町が手を組んでせめて60才以上の方々だけでも安く利用できるように、町で考えて頂きたいです。問4.生活の満足度:満足はしていますが、趣味の場、娯楽の場が少なく苦小牧まで通っている人も多い。問7.医療の満足度:大きな病院が少ない。施策1-1.身近な安全:老後の生活の心配。施策1-4.環境美化・衛生:トイレの水洗化が進んでほしい。施策1-6-1.住環境:パーク場が町営化してほしい。

・ゴミ問題:分別が厳しすぎないか。共同住宅だと分別できない人がいるとゴミが回収されず、ゴミがあふれカラスなどにあらされゴミが散乱しているのをよく見る。また、設置されているゴミステーションが網目状のものはカラスにすきまから食いあらされている。景観を損ねるので対策してほしい。・飲食・観光:チェーン店がなく、個人店ばかりで気軽に入れるお店がない。ファストフード店などの気軽に入れるお店が欲しい。また、日帰り入浴がウポポイの近くになのが良くない(界ポロトの〇湯は料金が高すぎるので問題外)マザーズ以外に観光客が立ちよる場所がない。・コンビニで住民票だせるようにしてください。

①町長によるトップセールスが足りないと感じます。②町内会が維持管理している外灯(防犯灯)を町管理に移行してほしい。③上・下水道料金が町外と比較して非常に高い。プロアドバイザー等を利用して改善の予地があるのでは?④全町にまたがる、踏切り通行(車)時、酷すぎる。事故る恐れ有り。JRに進言してください。(ウポポイ前のようにしてほしい)⑤除雪に関して、通行(人、車)出来る範囲内で除雪を要望します。必要以上に除雪して、道路の破損やジャリを私有地空地内に捨て、毎年、町内会を通じて、補修、撤去依頼をしている(申し出ないとやらない、ヘキヘキです)⑥町内会長を町協力員(準職員)として、更に太いパイプとする。⑦本調査結果を公表する事を要望します。

必要なお店が少なく靴一つ買うにも苦小牧へ出なければならないので、とても不便だと思います。

◎町内に雇用の場が年々減り、若者の町外への流出に歯止めがかからない。町内に残るのは高齢者のみ・・という現実に対して、町理事者・町議会共に真剣に取り組む姿勢が全く見られない。このままでは白老町は衰退の一途! ◎観光・商業の振興に国立博物館への期待が大き過ぎる現状では全く進展は望めない。観光協会・商工会共に人的体制の見直しを含めた体制強化に取り組むべし! ◎ようやく、町立国保病院の改築が実現する事になったが、問題が提起されてから、方針が決まるまでの期

間が長過ぎる。今回の改築には建設資材の高騰により工事費がはね上がるそうだが、町議会議員の報酬、町職員の人件費を削減してでも改築は進めてもらいたい！ ◎白老港は、いわば町民の願望として国に陳情し、膨大な国費を投じて建設されたもの。町外の人から「あの港を白老町はどうするつもりなんだ・・！」と言われている事を町職員はじめ町の有志は何とも感じないのか？もっと利用拡大に向けた営業活動を全国に発信せよ！

観光に引き続き力を注いで、街並みもキレイにし、駅前の商店街に観光客が流れるようになると、活気が出て良いと思います。ウポポイ周辺だけの観光はもったいない。

水道料金が他の町より高く、こまっています。

・町内の交通網として、便利良くして頂きたい(デマンドバスの増便) ・町立病院として、診療機関の充実、創設をお願いしたい。(眼科、耳鼻咽喉科等・・)

2 か月～3か月に一度くらい町民の意見、要望等を聞く事を実施して下さい。

子供の遊び場について。学校の遊具もうんてい吊り輪も撤去したままです。今度は回転遊具も使用できない状態です。いくら子供が少なくともチョット足りなすぎでは。この地区のたった一つの公園も新しくなったのですがもう少し遊具があっても良いのではないのでしょうか。

防災、特に津波対策に力を入れていただきたいです。

町立病院職員は日々患者さんに対して適切に対応していますが、近隣の医療機関と比べると、かなり劣ると思う。高齢者は親切で優しく対応していただければ、いい病院と感じてくれる。思いやりのある看護を願います。

農産物、水産物の直販場所になる道の駅的な役割の物販の場所。人の交流。町の活性化。

施策に対しての件外かも知れませんがペットの飼い主のレベルの低さ。札幌在住が永く比較してしまうのですが、猫の放し飼い、犬のフンの始末の悪さ等やはり田舎ならではの部分が多く見られる様です。役所関係の事柄は苦小牧に出向かなければならない物が多く不便さは在ります。郡ではなく”市”への発展はないのかなあ・・と思う事も他の都市から転入して来た者は考える事があります。又、空き家対策も上手く行ってないようですね。移住者を都会から呼び込む手段として使う方向はないのでしょうか？もちろん移住者の勤務場所も必要かと・・他者が生意気な事を申し上げました。

全国的にもそうかもしれないが、老人や子どもばかり照準を当てすぎている。まちづくりを考えるならば細かい部分にも目を向けてほしい。

子供が集まる公園がない・・。道路、歩道がガタガタなので自転車での通行が怖い。先日のひきにげじやなかった自転車の子の大けが。横断歩道の穴での怪我ですよね。あの穴はいつ埋めるのですか？一人けがしたなら他の人もけがしますよ！！

どの施設でも対応が緩慢で不親切であり、転入当時は驚きました。私語は活発で、余所者には冷たく、これが白老町民なのだと理解するのに時間がかかりました。施策も仲間内だけの楽しい部外活動なのだと捉えています。

免許証を返納しても買い物や病院へ行きやすいと住み続けようかと思う。自給自足の為、畑ができる白老は魅力の1つかも。

道路ががたがたすぎる。子育てがしやすいとは思えない。型にはめられた教育しか受けられないのもっと幅広い視野をもつべき。

・中層住宅でもエレベーターがあり、良質な住宅があっても良い。 ・石山通りは街灯がなく、夜間暗いので鹿との接触事故の危険多い

各項目をチェックしましたが実際の所、良くわかりません。チョット、意識不足、勉強不足でした。

・町立病院が新しくなっても、医師の確保が難しかったり、現在の医師も町民に優しくない医師もおります。町民のための心優しい医師やスタッフが揃って欲しいと願います。 ・道路の整備や排水溝の

整備もして欲しい。・ゴミの収集ですが、ダンボールをビニール袋につめなくてはいけないのは高齢者には力のいることで大変です。何故、しばってまとめて出してはいけないのでしょうか。施策 1-8. 道路:道路は特に悪い。

施策 2-2.地域医療:とても心細い医療サービスだと思います。今後のサービスに期待大。

これからも高齢者が暮らしやすいまちづくりに考慮してください。

若い人が定住してもらえる町になってほしいです!!

今後、高齢化が進み、福祉・医療にもっと積極的に対策を。特に医療については現在の町立病院の患者への対応が悪い話が多く聴こえています。新しい病院が出来るので安心・安全な病院を作ってください。旧社台小学校について何か対応策があるのか。このままでは老朽化して使用不能になるのでは。高齢者ばかりより子供達の事を考えてほしい。病院をもう少し行きたいような施設に。診察する科が少なすぎるし、行くと嫌な思いもした。今の先生がいる間は行きたくないと思っている。大変でしょうがやって欲しい。受付(科)も良くない 町立病院以外の個人病院も増やす努力して欲しい。

町の顔である庁舎・コミュニケーションセンター・総合体育館の建替えを早急に行ってください。(あまりにも古く、外見も汚い。)

年寄りに優しい町づくりが必要 全ての施策が充実することは困難です。本町のアピールポイントは「食べ物がおいしい」こと。頑張れ!! 元気まち 白老、本町が大好きです。

施策 4-4.観光:私は昨年10月に萩野に転入してきました。近くに自然いっぱいの芝と林とあづま屋のある(萩の里)があります。山に向かっていくとヒュッテがあり見晴らしがすばらしいと聞きました。私、まだ山には行っていません。こんなに心がいやされる景色があるのですからまず各町内の方々に宣伝して来ていただきたいと思います。又、ちょっとしたイベントはいかがでしょうか? イベントは各地区にも出張を試みるのはいかがでしょうか? 萩野在住以外からもいらしていただけたらと思います。今は小鳥のさえずりがとても良い季節です。

白老港の利用度の低さ、バイオ燃料生産施設の失敗、ゴミ処理体制、従事関係者(役場、会社)の環境意識の低さ、等々 → すべての町職員 理事者の意識改善が必要です。この調査のレベルは非常に低い。本来は「〇〇について、こういう取組みをしているがどのように思いますか?」というように設問を設定するべきです。問7.医療満足度:但し、登別東町 JCHO があるので心配ない。 施策 1-6.住環境:不明(わからない)。施策 1-7.公共交通:虎杖浜から白老町市街は遠い。虎杖浜の利便性は登別方面が良い。施策 1-10.地域情報化:わからない(不明)。施策 2-1.健康づくり:役場の取組みはうるさい位あるがその効果あまりあるとは思えない。施策 2-2.地域医療:登別東町の JCHO があるから良い。施策 2-3.子ども・子育て:(どちらかという)不明。施策 2-6.障がい者(児)福祉:不明。施策 3-1.学校教育:不明。施策 3-2.社会教育:不明。>

・医療福祉がほぼ無いに等しい。町立病院より個人病院の方が信頼できる。白老町はその為に、自宅で高齢者が死ねないという状態なので早急な改善をして欲しい。・自家の家族が福祉(リハビリ)サービスを受けているが、町外に出てサービスを受けている状況であり今後の改善をして欲しい。・町の大事な消防施設が、一番最初に津波にのみ込まれそうな場所にあるのは、町の安全対策面に不安を感じます。・道路の照明灯が少ないように感じます。夜間の安全性が不安。

温泉の町です。空屋をうめるのには、空地进行してでも、温泉を使ってビニールハウスを作って、野菜などを作ったりして大勢の若者を使い、人が大勢来ると、町も大きくなって行くと思います。若者が、室蘭や苫小牧に流れて行くのはとてもかなしいです。問 12.役場からどのような手段で情報を得ているか:「広報げんき」をいただく事ありません。10年ぶりに介護の方から町立病院が出来ると言っていて昨年の3月号を戴きました。それで町立病院が出来ると知りました。

医療関係の充実を希望しています。

高齢者が答えるには迷う事が多いです。わからないという欄を可能ならほしかったです。町立病院

が変わったなと思える事を願っています。

医療(診療)科目を増やしてほしい。

○安全、安心に暮らせる町、それは、老後をいかに不安なく暮らしていける町になるかが問われていると思います。その為には、消防・警察・自衛隊等の目に見える活動をする事！ ○子育てに安心出来る様に、教育の充実、公園の整備強化。公的に子育てサークル支援。○町立病院の建設は喜ばしい事ですが、職員のモラル教育、医師の質の強化。若者、老人への早急な施策の実行！！

少子化対策に力を入れて、安心して子育てができるようにして頂きたいと思います。長く住んでいないので町のことが正確に分かっていない所があり的はずれな回答がありましたら、お許し下さい。

質問が難しく、判断に苦勞する。自己中心で答えたが的を得ているかな？施策 1-6-1.住環境:公園管理悪すぎ 施策 1-7.公共交通:全自動電気無人バスの早期導入 施策 4-2.港湾:投資にまったく見合っていない~もったいない 問9.自治基本条例:知らなかった(今回知った。初めて現物見た。)

町長は何時から交代し町長になったのでしょうか！！ この町現在はアイヌ関連で持っている様な感じですが、やはり町長もそれに乗るのか？アイヌあつての白老町か？アイヌもあと2年で降下し始めるでしょう。その時は塩ちゃんの出番ですね。頑張りましょう！！

白老以外の地区に住んでいる高齢者の移動手段が無い。循環バスを竹浦、虎杖浜まで広げる、カムイ号の本数を増やす、通院や買い物をもっと便利にするなど工夫が必要。元気号や道南バスのバス停まで歩くことが大変だったり、国道の信号の無い場所を渡り危険な高齢者が多いことを知ってほしい。また、せっかく白老牛や鱈子などの特産品があるのに PR がバラバラでまとまりがない感じがする。ウポイができて日帰りの観光客が多く町内で宿泊や買い物をしていない印象がある。「〇〇の町」というコンセプトを決めて、町全体で取り組むことをしてみてもどうでしょう。..と、言いつつ自分ではグランピング施設を作り白老牛や魚介類、椎茸などを提供するくらいしか思い付きませんが..。せっかく自然豊かで水も美味しい、住みやすい気候の良い町なのでもっと活気が出ると良いですね。

*地域医療について 今、新しく町立病院が築かれようとしています、安心な医療サービスが確実に受けられるような体制にして頂きたい。救急はとつてもよくしてくれて迅速に事を運んでくれますが、町立病院では全て受入を拒否されることが多く、苫小牧の病院へと移送される。有能な先生はいないのか？と思うくらいだ。ただ時間さえいればいいという先生達の態度にはあきれられるばかりだ。地域医療をいかに良くしたらいいのか？は来られる先生の教育からして頂きたいと強く思う。あえて言うならば白老町には不満はありませんが、白老町立病院には毎回行くたびに看護師さんの多いこと。そしてリハビリスタッフの暇そうな行動、ドアから出たり、入ったり。この人仕事しているのだろうか？と思うくらいです。又先生達の日程表にはおどろきです。休日？出勤日が少なすぎませんか？院長も出張...で、どこで何をしているのですか？町の小さな病院なのに、そんなに多忙なのでしょうか？このような事からして良く検討してこれからの新しい町立病院を作り上げてほしい。 施策 4-4.観光:ウポイが出来たことで商店街も少し活気が出て来たのか？と思っています。 施策 3-5.民族文化、施策 4-5.農林業、施策 4-6.水産業 → よくわからない

施策 1-6-2 住環境 → 空き家が多く、利活用、廃止が急務。 施策 1-10 地域情報化 → 観光地の無料 wi-fi の整備(ウポイ、大町商店街、宿泊、入浴施設など)。 施策 2-2 地域医療 → 小さい病院がない(各地区)。 施策 3-6 人権 → 30 年前より、差別がなくなってきた感がある。「アイヌ」ということばが出やすく、使いやすくなった。 施策 4-1 産業連携・雇用 → 大昭和、旭化成のような大企業が来たら町は復活する！小会社・事業所レベルではなく...。 施策 4-2 港湾 → 考えは古いかもしれないが、白老港ができた理由は商港区化なのは。 施策 5-1 地域活動 → 白老本町に集中している。それ以外の地区にも配慮を。 施策 5-2 交流・連携 → ケネル、仙台より苫小牧、登別との結びつきを強めて！

若い人が高校卒業後、町外へ出ていき、人口減少が進んでいる 働く場所がないし、ここにいる魅力

がないのではないかと思います。高齢者は住みやすいですが、買い物に行く足がなく・・・「ふれあいさん」や「わらびさん」のような方々のお手伝いされている方が多く聞かれます。子供から働く年代、老人と幅広い町民の声を聞いて、誰もが住みやすい町にしてほしいです。

・海外の客船を入港させるイベントがもっと必要 ・宿泊施設を増やす(金の高いホテルではなく、リーズナブルなもの) ・避難するために高さのあるホテルを作る ・自然の中にいる動物にあえない(シカは 30 頭ぐらいはいる)。リス・シマリスなどを見られるとうれしい。実のなる木を植える等(クマが食べないもの) ・移動式のコンテナハウスの準備をしておく(災害用)使用しない時はキャンプ用の宿としてお金を頂き管理費にする。

千歳一苦小牧 樽前山をみながら社台、牧場サラブレッド、白老牛食べられる食堂等そしてポロト湖周辺の施設、白老駅通りの飲食店、商店等魅力ある店がふえ観光団や一般の人にも利用度が増す状況と思われれます。できれば白老港に揚がる海産物、魚介類が加わり農作物ももう少し特色を出せれば観光白老の発展をさらに向上させると存じます。白老市街から萩野地区が少しさびしいくらいで漁港、萩野公園周辺まで開発で特色が出ればと思っております。*人口減少の内での感じたこと。

高齢になって感じますが、1 人暮らしになって白老で暮らす事に不安を感じる事が多くなりました。町が何をしようとしているのか情報を知る機会が減ったと感じる事 体力維持と思っても会場に行くのが車でなければむずかしい事も 病院の事！！結果家で過ごす事を選択 日々、小さな楽しい事、笑う事をさがしています。もう少し太いと書きやすかったなあー (笑)

・子供の遊具が少ない ・ウポポイとの連携が見えない ・企業を誘致すべき

総合病院がないため、医療体制に不安を感じます。そのため、隣接の市に通院していますが、現在は自家用車にて通院していますが、年を重ねると、運転の不安、また、雪道の不安があります。白老町から隣接の総合病院への公的な通院方法ができれば安心です。また、津波時の避難についても不安があります。避難場所まで行けるかどうか？家族に支援が必要とする者がおりますので。(支援は受けていません)

白老に住んで 45 年になります。最初は住みにくい所だと感じました。今は住めば都だと感じています。歳を年々感じ、今は障がい者になってしまい、主人と2人暮らしです。自分が 1 人になった時のことを思うと不安でいっぱいです。

ウポポイができ観光客も増え白老町をアピールする良い機会のはずが、公園や子どもの遊び場が少なく、町やお店の情報もインターネット上で上手く公表できていないためもったいないと感じる。子どもや移住者を増やすためにも、この公園があるから白老へ遊びに行ってみよう、この施設やお店の空き状況や予約が HP で手軽にできるから白老で集まろう、この支援があるなら白老に住むのもありかなと考えることができる情報を少しでも得やすい環境を整えて欲しい。病院のHPひとつを見ても診療時間がわかりにくかったり、予防接種優先の日に予防接種の予定が入っていて診察のために待つかどうかを HP 上に公開していない。小さなことから改善してもらえると生活の質が上がり住み良い町になると感じる。

野球のまちと言っているのに、中学校に野球部が無いのはちょっと変だと思う。黒獅子杯を白老でやるなら、ちゃんと白老のチームもないとおかしい。公園整備が全然進んでないような・・・子供達が楽しく外で遊べるようにしてください。フワドだけじゃ密になりすぎだし車の往来も多いので、心配です。スポーツについて、カーリング場の新設を希望しています。

・国民健康保険の支払いが重く、生活に不安と心配で困っています。 ・別荘だと、固定資産税だけで、いいなと思いました。 ・元気号は、便利に利用して助かってます。AM9 時ごろの便があるといいなと思いました。 ・役所の方々には、良くして頂いて「ありがとう」と伝えたいです。 ・分からない事も多いので、回答できず、勉強不足で「ごめんなさい。」です。問 12.役場からどのような手段で情報を得ているか:役場に行き教えていただいています。

既存の商店等。

・環境衛生の観点から、全面的な側溝の整備を。・町道路側の草刈を町民の善意に頼るのではなく、町として実施を。・医療費削減のため、町民総合健診結果データを町立病院主治医と共有することはできないか。(例)一週間以内に検診と病院で各々採血するのは、合理的ではない。

町内会の行事などに若い方々も参加してほしい。そうじ、草取り、出るのは高齢の方ばかりです。

4年前に移住して、真先に感じた不便は、この町の通信関係の”劣悪”さでした。インターネットの光回線を導入するために3カ月も要しました。発展途上国じゃあるまいし、現代の日本で簡単な電柱工事が3カ月なんて考えられません。そんなことは北海道内でも白老町とあと何とか町(忘れた。)だけなのだと言われました。こんな町に未来を語る資格がありますか。早急な改善を求めます。

白老町に定住して長くなりますが設問が広範囲に及んでいて、私が評価することは出来ません。バーデン団地の一角の住人が答えられる間に限って記入しました。新町長が生まれましたのでこの場をおかりしてバーデン団地の下水溝(雨水溝)の状況の点検を担当課にお願いします。危険回避、生活環境整備と社会基盤整備の観点から住民との話し合いを是非にお願いします。

大塩町政にこの場をおかりしてお願いがあります。太陽電池パネルが空き住宅地に設置がめだってきています。近隣の環境は変わり団地の在り様は悪くなりました(バーデン団地、近くの団地)。これ以上に空き地がパネルで埋まってきそうで心配です。

・水道代が他の市町村にくらべて高すぎる。おかしい。・町内のバス利用サービスが良いです。続けて下さい。・白老町に道の駅がないのはなぜ?・道路の舗装がガタガタ(50年間やっていない)北吉原地区はひどい。

・自然豊かな白老に魅力を感じ引っ越してきましたが、太陽光パネルが多く設置され景観が乱れてきてとても残念に思います。また、そのパネルによっては鉛やカドミウムが含まれていて土地や水質汚染の恐れもあると聞き、”食の王国白老”と発信しているのに大丈夫かなと心配になる。設置するにしても何かしら条件をつけるべきではないかと思う。・あちらこちらに公園はありますが整備されていなければ活用もされていなくてさみしい。・港も活用しきれなくてもったいない。高速もある、港もある、空港もまあまあ近い。・日本製紙の撤退も決まっているのですから、もう少し企業誘致に力を入れてもよいのではないのでしょうか。・港まつり、復活させてほしい。

住宅、仕事、充実した町に。

町が(財政が)潤えば他政策も大きく変われると思う。アンケートはちょっと大変◆

各施策に対してではないけど、大町の生ラムジンギスカン RAMBNALI のところのT字路のところにカーブミラーをつけてほしい。けっこう前に出ないと車が来てない、来てるとか見えず、事故になりそうなことが多々あるのでお願いします。

白老町に国立博物館が出来たのに私の周りの人達は感心が低く残念に思う(小数だと思いますが)。町外の人達は何しろ足を運んでいると耳にするたび、少し寂しくなります。一度行ってみたい。すばらしいのに。

限られた財政の中からいろいろと考えながら自然豊かで住よい町作りにそして元気いっぱい白老町を目指してほしいと思っています。私は5年~10年後には車の運転が出来なくなります。近くの病院へ通院するにもバス、汽車、タクシー(白老から)と本数も少なくなかなか困難になってきます(これから先)白老方面には元気号が出ているけど登別方面にも元気号があったらいいなあ~と思っています。

”この度は町長御就任、誠におめでとうございます。これを期に、この町の貧困気がより軽く、より明るくなる事を心より期待しております。折角頂いた貴重な機会ですので、厚かましいとは思いつつも、別紙にて、ある条例に対する私の想いを綴らせて頂きました。お目通し頂けましたら幸いです。

白老町畜犬取り締まり及び野犬掃とう条例について、当該条例は2015年4月1日に改正案が施行

され、7条2項が新たに加えられたことにより町による行政代執行、つまりは殺処分することが可能になりました。

このことは2014年12月11日に北海道新聞等でも報道され、この後間もなくして東京に事務所を置く動物の福祉・保護活動団体「ALIVE」が、町に対して要望書を提出しておりますが、この要望書を一団体からの一意見に過ぎないと軽く受け止めるべきではないと考えます。

私自身、昨年夏ごろに町内会回覧を通してこの条例を知った時には、全身から血の気が引くような感覚に陥ったことを今でも覚えています。これ程までに冷血で時代に逆行する条例が未だに存在するものか、と驚いたというのが移住系町民である私の率直な感想です。

そもそも論として、町条例からすれば親に当たる法律と同じく長兄に当たる道条例は共に、動物の適正な取り扱いを促進することで動物の身の安全と健康を促進し、民衆の中で動物愛護精神を高めることを目的としており、結果人と動物とが共存できる社会づくりを目指しています。

それに対して白老町の当該条例はというと、一言目からあたかも犬が害獣であるかのように扱い、それらから如何に身を守り、それらを如何に掃討するか、ということが目的となっています。その為、処分という言葉がいとも簡単に多用されている反面、動物愛護という観点からの文言は残念ながら最後まで一言も出ては来ません。

このことから当該条例は、上述の法律および道条例の掲げる目標にも、そして今の時代にも、更には町が進めている多文化共生の街づくりにすら、相反していると言わざるを得ません。

以上のことから、当該条例を一新する改正を心から宜しくお願い申し上げます。”

花一杯美しい町づくりに町民が協力しあって努力したい。

ポント湖(小沼)から流れている小川は線状降水帯の対策は出来ているのでしょうか？